

2014年度第2四半期  
決算説明資料

2014年11月5日

旭化成株式会社

# 目次

## 1. 2014年度上期実績

主要決算数値	P4～P5
連結損益計算書	P6
金融収支・有利子負債残高	P7
特別損益	P8
連結貸借対照表	P9
連結キャッシュ・フロー計算書 設備投資額、減価償却費、研究開発費	P10
新セグメント別売上高・営業利益	P11
事業別売上高・営業利益	P12～P14

## 2. 2014年度業績予想

当期の業績予想	P16
事業別売上高・営業利益予想	P17～P18
新セグメント別売上高・営業利益予想	P19
<h3>3. 参考資料</h3>	
連結包括利益計算書	P21
事業別業績推移	P22～24
事業別設備投資額、減価償却費、 研究開発費	P25
設備投資件名	P26
事業別概況	P27～39

# 1. 2014年度上期実績

# 主要決算数値(1)

(億円)

	13年度上期*1 a	14年度上期		対前年同期 (b-a)		対従来予想 (b-c)	
		実績 b	従来予想*2 c	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	9,190	9,669	9,760	479	5.2%	-91	-0.9%
営業利益	742	709	670	-33	-4.5%	39	5.9%
経常利益	728	742	670	14	1.9%	72	10.7%
四半期純利益	466	495	415	29	6.3%	80	19.3%

\*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期の金額を遡及修正している。

\*2 2014年8月時点の予想

	14/3月末 a	14/9月末 b	増減 b-a
総資産	19,151	19,426	275
自己資本	9,127	9,665	538
有利子負債残高	3,039	2,834	-205
D/Eレシオ	0.33	0.29	-0.04

## 主要決算数値(2)

	13年度上期	14年度上期
一株当たり配当金	7 円	9 円
一株当たり純利益(EPS) <sup>*1</sup>	33.33 円	35.44 円
一株当たり純資産(BPS) <sup>*1</sup>	624.38 円	691.85 円

### <連結対象範囲>

連結子会社数 <sup>*1</sup>	131	132
持分法適用会社数	41	38

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	64,750	70,400
為替レート(相場平均:¥/US\$)	99	103

期末人員	29,210 人	29,862 人
------	----------	----------

\*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期の金額および連結子会社数を遡及修正している。

# 連結損益計算書

AsahiKASEI

(億円)

(%は売上高比率)	13年度上期*1	14年度上期	増減額	増減率
売上高	100.0% 9,190	100.0% 9,669	479	5.2%
売上原価	72.4% 6,658	73.1% 7,070	413	6.2%
売上総利益	27.6% 2,532	26.9% 2,599	67	2.6%
販管費	19.5% 1,790	19.5% 1,890	100	5.6%
営業利益	8.1% 742	7.3% 709	-33	-4.5%
営業外損益	-14	32	47	
(内、金融収支)	(6)	(11)	(5)	
(内、持分法投資損益)	(-18)	(12)	(30)	
(内、為替差損益)	(-3)	(20)	(23)	
経常利益	7.9% 728	7.7% 742	14	1.9%
特別損益	-16	-0	16	
税前利益	7.7% 712	7.7% 741	30	4.1%
法人税等	-241	-242	-1	
少数株主損益	-5	-4	1	
四半期純利益	5.1% 466	5.1% 495	29	6.3%

\*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期の金額を遡及修正している。

# 金融収支・有利子負債残高

## (1) 金融収支

(億円)

	13年度上期	14年度上期	増減
支払利息	-17	-16	2
受取利息	6	7	1
受取配当金	18	21	2
その他	-0	-0	-0
合 計	6	11	5

## (2) 有利子負債残高

(億円)

	13/9月末	14/3月末	14/9月末	14/3比増減
短期借入金	1,166	1,036	904	-132
コマーシャル・ペーパー	500	100	180	80
長期借入金	1,435	1,460	1,317	-143
社債	450	400	400	-
リース債務	53	42	33	-9
合 計	3,604	3,039	2,834	-205

# 特別損益

(億円)

	13年度上期	14年度上期	増減
投資有価証券売却益	3	23	20
固定資産売却益	15	2	-12
特別利益	18	25	7
投資有価証券売却損	-	1	1
投資有価証券評価損	6	5	-1
固定資産処分損	14	12	-2
減損損失	-	1	1
事業構造改善費用	14	6	-9
特別損失	34	26	-9
特別損益	-16	-0	16



# 連結貸借対照表

AsahiKASEI

(億円)

	14/3月末	14/9月末	増減		14/3月末	14/9月末	増減
流動資産	8,904	8,848	-56	負債	9,893	9,626	-267
現金及び預金	1,515	1,100	-415	流動負債	5,768	5,462	-306
受取手形及び売掛金	3,167	3,267	100	固定負債	4,125	4,164	39
棚卸資産	3,285	3,515	230	純資産	9,258	9,800	542
その他	937	966	29	株主資本	8,156	8,356	200
固定資産	10,247	10,578	331	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,805	4,915	110	資本剰余金	794	794	0
無形固定資産	2,584	2,656	72	利益剰余金	6,354	6,557	203
投資その他の資産	2,857	3,007	150	自己株式	-26	-29	-3
				その他の包括利益累計額	971	1,309	338
				少数株主持分	131	134	4
資産合計	19,151	19,426	275	負債純資産合計	19,151	19,426	275

# 連結キャッシュ・フロー計算書、 設備投資額、減価償却費、研究開発費

AsahiKASEI

## (1) 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	13年度上期 <sup>*1</sup>	14年度上期
営業活動によるキャッシュ・フロー①	872	430
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-494	-478
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	378	-48
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-347	-400
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	17	19
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	48	-429

現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,040	1,431
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	5	1
現金及び現金同等物の四半期末残高(⑥+⑦+⑧)	1,093	1,004

## (2) 設備投資額、減価償却費、研究開発費

(億円)

	13上	13年度	14上	14年度予
設備投資額(有形) <sup>*1</sup>	383	825	368	900
設備投資額(無形)	44	99	59	85
設備投資額計 <sup>*1</sup>	427	924	427	985
減価償却費(有形 <sup>*1</sup> と無形(除く、のれん)の合計)	412	861	406	860
減価償却費(のれん償却額)	44	88	43	
減価償却費 <sup>*1</sup>	456	949	449	
研究開発費	345	711	360	820

\*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期の金額を遡及修正している。

# 新セグメント別\*1売上高・営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益			14/上従来予想*3	
	13年度上期	14年度上期	増減	13年度上期*2	14年度上期	増減	売上高	営業利益
ケミカル・繊維	4,568	4,775	207	276	266	-10	4,800	255
住宅・建材	2,662	2,825	163	296	288	-8	2,850	285
エレクトロニクス	747	740	-7	93	74	-19	750	75
ヘルスケア	1,133	1,214	81	143	150	6	1,240	130
その他	80	116	36	8	7	-1	120	5
消去又は全社	-	-	-	-73	-75	-2	-	-80
合計	9,190	9,669	479	742	709	-33	9,760	670

\*1 2014年度より、これまでの「ケミカル」、「繊維」、「住宅」、「建材」、「エレクトロニクス」、「医薬・医療」、「クリティカルケア」の7つの報告セグメント区分から、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4つの報告セグメント区分による開示に変更した。新セグメントの営業利益は、各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。尚、従来の「医薬・医療」セグメントおよび「クリティカルケア」セグメントは「ヘルスケア」セグメントとして開示している。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期の金額を遡及修正している。

\*3 2014年8月時点の予想

# 事業別\*1海外売上高

AsahiKASEI

(億円)

	13年度上期			14年度上期			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率		金額	比率	金額	伸び率
ケミカル	3,970	1,845	46.5%	4,131	1,861	45.1%	16	0.9%
繊維	598	234	39.1%	644	262	40.8%	28	12.2%
住宅	2,384	-	-	2,560	-	-	-	-
建材	278	-	-	265	-	-	-	-
エレクトロニクス	747	473	63.3%	740	468	63.3%	-5	-1.0%
医薬・医療	758	179	23.6%	733	183	24.9%	4	2.2%
クリティカルケア	375	373	99.4%	481	477	99.0%	104	27.8%
その他	80	3	4.1%	116	4	3.4%	1	20.6%
合 計	9,190	3,107	33.8%	9,669	3,255	33.7%	148	4.8%
東アジア地域*2への売上高		1,777	19.3%		1,782	18.4%	5	0.3%
(内、中国への売上高)		976	10.6%		976	10.1%	0	0.0%

<参考>住宅・建材を除いた売上高 6,528 3,107 47.6% 6,845 3,255 47.6%

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 中国、韓国、台湾

# 事業別\*1売上高・営業利益増減要因(1)

AsahiKASEI

(億円)

		13年度上期	14年度上期	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
ケミカル	売上高	3,970	4,131	161	50	60	61	51	-
	営業利益	232	220	-12	-7			-	-65
繊維	売上高	598	644	46	26	10	6	10	-
	営業利益	44	47	3	4			-	-11
住宅	売上高	2,384	2,560	176	35	82	-	58	-
	営業利益	265	270	4	4			-	-83
建材	売上高	278	265	-13	-16	3	-	-	-
	営業利益	31	21	-10	-2			-	-10
エレクトロニクス	売上高	747	740	-7	40	-47	17	-	-
	営業利益*2	93	74	-19	27			-	1

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期の金額を遡及修正している。

# 事業別\*1売上高・営業利益増減要因(2)

AsahiKASEI

(億円)

		13年度上期	14年度上期	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
医薬・医療	売上高	758	733	-25	-5	-20	9	-	-
	営業利益	164	147	-16	-6			-	10
クリティカルケア	売上高	375	481	106	98	-8	1	16	-
	営業損益	-20	3	23	76			-	-45
その他	売上高	80	116	36	36	-	-	-	-
	営業利益	8	7	-1	3			-	-4
消去又は全社	営業損失	-73	-78	-5	-	-	-	-	-5
合計	売上高	9,190	9,669	479	264	80	94	135	-
	営業利益*2	742	709	-33	99			-	-212

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期の金額を遡及修正している。

## 2. 2014年度業績予想

# 当期の業績予想

(億円)

	13年度			14年度			増減	14年度 当初予想*2	増減
	上*1	下*1	計a	上実績	下予想	計b	b-a		c
売上高	9,190	9,788	18,978	9,669	10,391	20,060	1,082	20,160	-100
営業利益	742	691	1,433	709	831	1,540	107	1,500	40
経常利益	728	701	1,429	742	828	1,570	141	1,510	60
当期純利益	466	547	1,013	495	505	1,000	-13	900	100

\*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期および下期の金額を遡及修正している。

\*2 2014年5月時点の予想

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	64,750	69,900	67,325	70,400	64,000	67,200	-125	70,000	-2,800
為替レート(相場平均:¥/US\$)	99	102	100	103	105	104	4	100	4

	13年度	14年度
1株当たり年間配当金	17円	18円 (予定)
配当性向	23.5%	25.1%



# 事業別\*1売上高予想

AsahiKASEI

(億円)

	13年度			14年度			増減 b-a	14年度当初計画*2			増減(対今回予想)		
	上	下	計a	上実績	下予想	計b		上	下	計	上	下	計
ケミカル	3,970	3,946	7,916	4,131	4,339	8,470	554	4,140	4,340	8,480	-9	-1	-10
繊維	598	611	1,209	644	646	1,290	81	620	660	1,280	24	-14	10
住宅	2,384	2,960	5,344	2,560	2,950	5,510	166	2,570	2,940	5,510	-10	10	-
建材	278	272	550	265	285	550	-0	300	300	600	-35	-15	-50
エレクトロニクス	747	703	1,450	740	760	1,500	50	760	760	1,520	-20	0	-20
医薬・医療	758	768	1,525	733	767	1,500	-25	760	820	1,580	-27	-53	-80
クリティカルケア	375	423	798	481	549	1,030	232	460	520	980	21	29	50
その他	80	105	185	116	94	210	25	120	90	210	-4	4	-
合 計	9,190	9,788	18,978	9,669	10,391	20,060	1,082	9,730	10,430	20,160	-61	-39	-100

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 2014年5月時点の予想

# 事業別\*1 営業利益予想

AsahiKASEI

(億円)

	13年度			14年度			増減 b-a	14年度当初計画*3			増減(対今回予想)		
	上*2	下*2	計a	上実績	下予想	計b		上	下	計	上	下	計
ケミカル	232	157	389	220	300	520	131	225	275	500	-5	25	20
繊維	44	42	86	47	43	90	4	40	50	90	7	-7	-
住宅	265	364	630	270	310	580	-50	260	300	560	10	10	20
建材	31	24	55	21	19	40	-15	25	25	50	-4	-6	-10
エレクトロニクス	93	50	142	74	76	150	8	70	80	150	4	-4	-
医薬・医療	164	139	303	147	128	275	-28	130	160	290	17	-32	-15
クリティカルケア	-20	-15	-35	3	22	25	60	-5	10	5	8	12	20
その他	8	9	17	7	8	15	-2	5	10	15	2	-2	-
消去又は全社	-73	-80	-153	-78	-77	-155	-2	-80	-80	-160	2	3	5
合計	742	691	1,433	709	831	1,540	107	670	830	1,500	39	1	40

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1期および下期の金額を遡及修正している。

\*3 2014年5月時点の予想

# 新セグメント別\*1売上高・営業利益予想

AsahiKASEI

## <売上高>

(億円)

	13年度			14年度			増減 b-a	14年度当初計画*2			増減(対今回予想)		
	上	下	計a	上実績	下予想	計b		上	下	計	上	下	計
ケミカル・繊維	4,568	4,557	9,125	4,775	4,985	9,760	635	4,760	5,000	9,760	15	-15	-
住宅・建材	2,662	3,232	5,894	2,825	3,235	6,060	166	2,870	3,240	6,110	-45	-5	-50
エレクトロニクス	747	703	1,450	740	760	1,500	50	760	760	1,520	-20	0	-20
ヘルスケア	1,133	1,191	2,324	1,214	1,316	2,530	206	1,220	1,340	2,560	-6	-24	-30
その他	80	105	185	116	94	210	25	120	90	210	-4	4	-
合計	9,190	9,788	18,978	9,669	10,391	20,060	1,082	9,730	10,430	20,160	-61	-39	-100

## <営業利益>

(億円)

	13年度			14年度			増減 b-a	14年度当初計画*2			増減(対今回予想)		
	上*3	下*3	計a	上実績	下予想	計b		上	下	計	上	下	計
ケミカル・繊維	276	199	474	266	344	610	136	265	325	590	1	19	20
住宅・建材	296	389	685	288	332	620	-65	285	325	610	3	7	10
エレクトロニクス	93	50	142	74	76	150	8	70	80	150	4	-4	-
ヘルスケア	143	124	267	150	150	300	33	125	170	295	25	-20	5
その他	8	9	17	7	8	15	-2	5	10	15	2	-2	-
消去又は全社	-73	-80	-153	-75	-80	-155	-2	-80	-80	-160	5	-0	5
合計	742	691	1,433	709	831	1,540	107	670	830	1,500	39	1	40

\*1 2014年度より、これまでの「ケミカル」、「繊維」、「住宅」、「建材」、「エレクトロニクス」、「医薬・医療」、「クリティカルケア」の7つの報告セグメント区分から、「ケミカル・繊維」、「住宅・建材」、「エレクトロニクス」、「ヘルスケア」の4つの報告セグメント区分による開示に変更した。新セグメントの営業利益は、各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。尚、従来の「医薬・医療」セグメントおよび「クリティカルケア」セグメントは「ヘルスケア」セグメントとして開示している。

\*2 2014年5月時点の予想

\*3 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期および下期の金額を遡及修正している。

## 3. 参考資料

# 連結包括利益計算書

AsahiKASEI

(億円)

	13年度上期*1	14年度上期	増減
少数株主損益調整前四半期純利益①	471	500	29
その他有価証券評価差額金	96	97	1
繰延ヘッジ損益	5	1	-4
為替換算調整勘定	131	205	74
退職給付に係る調整額	-	18	18
持分法適用会社に対する持分相当額	2	21	19
その他の包括利益合計②	234	342	108
四半期包括利益(①+②)	705	842	136

(内訳)

親会社株主に係る四半期包括利益	699	833	134
少数株主に係る四半期包括利益	7	9	2

\*1 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期の金額を遡及修正している。

# 事業別\*1売上高・営業利益

AsahiKASEI

(億円)

	売上高			営業利益			14/上従来予想*3	
	13年度上期	14年度上期	増減	13年度上期*2	14年度上期	増減	売上高	営業利益
ケミカル	3,970	4,131	161	232	220	-12	4,170	215
繊維	598	644	46	44	47	3	630	40
住宅	2,384	2,560	176	265	270	4	2,570	265
建材	278	265	-13	31	21	-10	280	20
エレクトロニクス	747	740	-7	93	74	-19	750	75
医薬・医療	758	733	-25	164	147	-16	760	130
クリティカルケア	375	481	106	-20	3	23	480	0
その他	80	116	36	8	7	-1	120	5
消去又は全社	-	-	-	-73	-78	-5	-	-80
合計	9,190	9,669	479	742	709	-33	9,760	670

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期の金額を遡及修正している。

\*3 2014年8月時点の予想

# 事業別\*1売上高推移

AsahiKASEI

(億円)

	12年度				13年度				14年度		14年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	下期 予想
ケミカル	1,611	1,713	1,690	1,832	1,931	2,039	2,014	1,932	1,969	2,162	4,339
繊維	263	276	275	283	288	310	301	310	309	335	646
住宅	863	1,267	1,174	1,557	984	1,400	1,218	1,742	1,055	1,505	2,950
建材	115	132	144	123	131	147	150	122	123	142	285
エレクトロニクス	340	330	332	310	365	382	366	337	358	382	760
医薬・医療	324	324	361	326	383	375	412	356	357	375	767
クリティカルケア*2	91	138	133	160	178	198	201	222	233	249	549
その他	44	45	42	50	40	40	45	60	69	48	94
合 計	3,650	4,225	4,151	4,640	4,300	4,890	4,707	5,081	4,471	5,198	10,391

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「クリティカルケア」事業において、2012年度では2012年4月27日以降の業績を開示していたが、2013年度より全期間の業績を連結対象としている。

# 事業別<sup>\*1</sup>営業損益推移

AsahiKASEI

(億円)

	12年度				13年度				14年度		14年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q <sup>*2</sup>	2Q <sup>*2</sup>	3Q <sup>*2</sup>	4Q	1Q	2Q	下期 予想
ケミカル	43	102	29	55	102	130	100	57	71	149	300
繊維	6	11	13	10	22	22	23	18	22	25	43
住宅	36	152	130	225	66	199	122	242	84	185	310
建材	5	11	17	7	13	17	20	5	9	12	19
エレクトロニクス	-4	4	14	14	38	55	36	14	40	34	76
医薬・医療	47	28	70	15	90	74	100	39	81	66	128
クリティカルケア <sup>*3</sup>	-5	-6	-12	-13	-15	-5	-7	-8	-3	6	22
その他	8	3	5	6	4	4	2	8	4	3	8
消去又は全社	-29	-30	-22	-23	-37	-36	-40	-40	-42	-36	-77
合 計	108	275	242	294	283	459	356	335	266	443	831

\*1 2014年度の業績は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 「エレクトロニクス」セグメントにおいて、2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度第1四半期、第2四半期および第3四半期の金額を遡及修正している。

\*3 「クリティカルケア」事業において、2012年度では2012年4月27日以降の業績を開示していたが、2013年度より全期間の業績を連結対象としている。



# 事業別<sup>\*1</sup>設備投資額、減価償却費、研究開発費 **AsahiKASEI**

(億円)

	設備投資額			減価償却費			研究開発費		
	13年度	14/上	14年度 予想	13年度	14/上	14年度 予想	13年度	14/上	14年度 予想
ケミカル	308	146	390	311	138		152	75	
繊維	80	42	85	59	31		31	15	
住宅	87	50	110	59	31		22	11	
建材	64	9	15	22	14		9	5	
エレクトロニクス	146	61	160	143	65		164	86	
医薬・医療	95	19	80	100	42		197	96	
クリティカルケア	87	47	70	100	51		62	37	
その他	14	5	15	10	5		1	0	
消去又は全社	45	48	60	57	29		75	34	
<b>合 計</b>	<b>924</b>	<b>427</b>	<b>985</b>	<b>861</b>	<b>406</b>	<b>860</b>	<b>711</b>	<b>360</b>	<b>820</b>

のれん償却額<sup>\*2</sup> 88 43

\*1 2014年度の予想は、2013年度までの報告セグメントと同様の区分で事業別に開示する。

\*2 ZOLL Medical社買収に伴うのれん償却額等

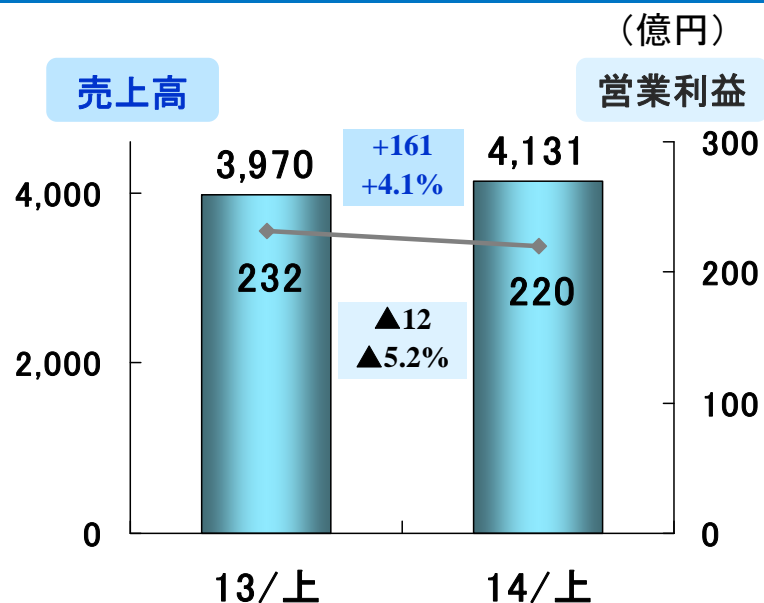
## <14年度上期完工件名>

- ・再生セルロース繊維「ベンベルグ」の製造設備増設(13/4~14/5、宮崎県・延岡市)

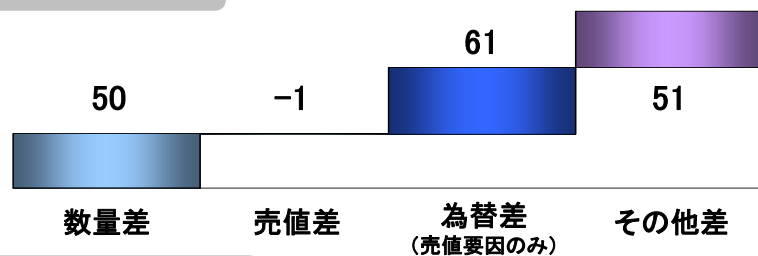
## <14年度上期末時点 工事中件名>

- ・溶液重合法SBRの製造設備第2系列増設(13/4~15年前半、5万トン/年、シンガポール)
- ・ヘキサメチレンジイソシアネート(HDI)系ポリイソシアネート「デュラネート」の生産設備増設(13年秋~15年初、1万トン/年、中国)
- ・ポリカーボネートジオール(PCD)「デュラノール」の生産設備新設(14/春~15年初、3千トン/年、中国)
- ・光学用新規透明樹脂「AZP」の生産設備新設(14/6~15年前半、数千トン/年、千葉県・袖ヶ浦市)
- ・スパンボンド不織布製造設備増設(14/6~15/11、2万トン/年、タイ)

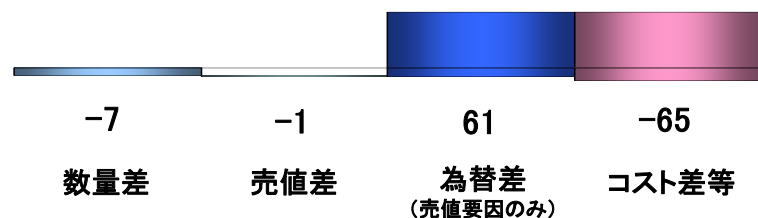
○:投資額30億円以上



売上高増減分析



営業利益増減分析



## <概況>

### ・石油化学系事業

スチレンモノマーの市況が悪化したが、国内石油化学事業の基盤強化の効果やアクリロニトリルの市況が改善したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

### ・高機能ポリマー系事業

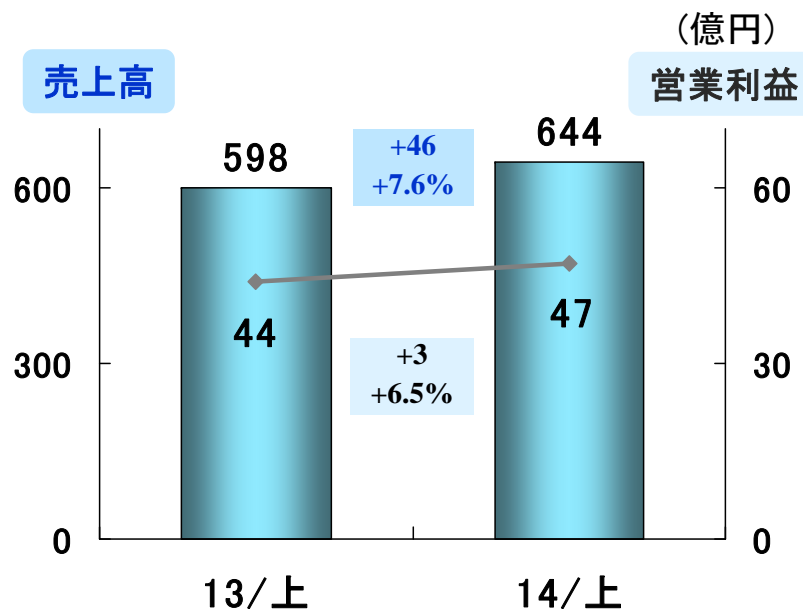
エンジニアリング樹脂や省燃費タイヤ向け合成ゴムの販売が堅調に推移したものの、合成ゴムのその他の用途で、海外市況悪化の影響を受けたことなどから、前年同期比増収、減益となった。

### ・高付加価値系事業

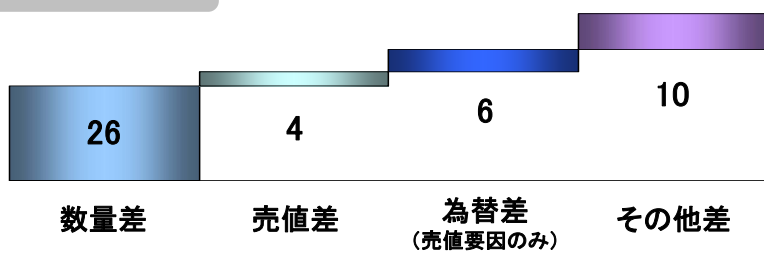
イオン交換膜の販売が堅調に推移したが、「サランラップ」を中心とした消費財製品で消費税増税前の駆け込み需要の反動の影響を受けたことや、広告宣伝費が増加したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

## <トピックス>

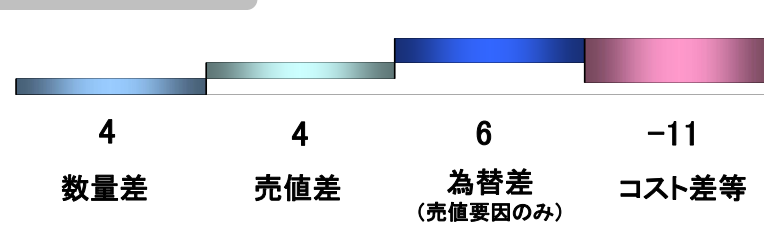
- ・米国において樹脂コンパウンドの第二工場を新設することを決定。(5月)
- ・複屈折ゼロを実現した光学用新規透明樹脂「AZP」を開発し、生産設備を新設することを決定。(6月)



売上高増減分析



営業利益増減分析

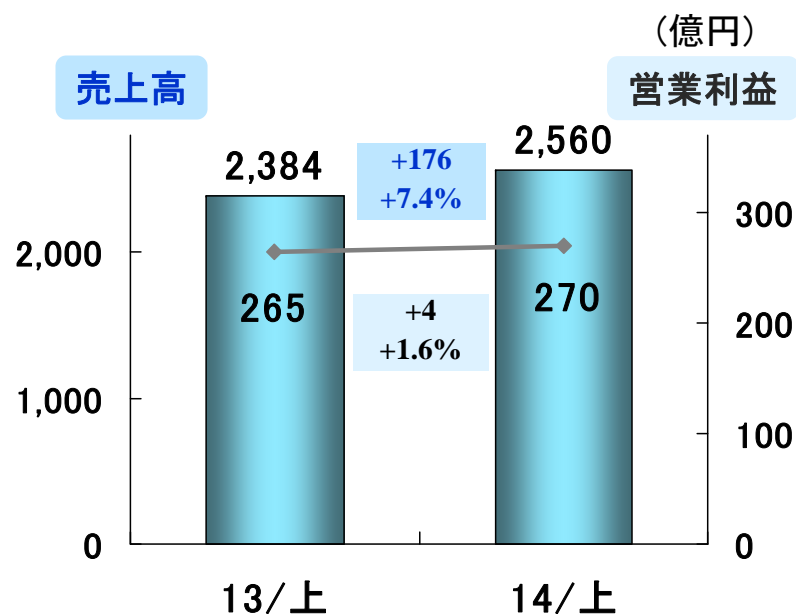


## <概況>

スパンボンド不織布やナイロン66繊維「レオナ」でナフサなどの原燃料価格高騰の影響を受けたことや、再生セルロース繊維「ベンベルグ」の新製造設備の償却費が増加したものの、フェイスマスク向けなどの長繊維セルロース不織布「ベンリーゼ」やポリウレタン弾性繊維「ロイカ」の販売が堅調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

## <トピックス>

- ・タイにおけるスパンボンド不織布製造設備の増設を決定。(5月)
- ・「ベンベルグ」の製造設備の増設が完了し、商業運転を開始。(6月)
- ・「ロイカ」を用いた伸縮する電線「ロボ電」の販売開始。(9月)
- ・「ベンベルグ裏地ミュージアム+」を開設。(10月)



## 事業別増減分析

(億円)

	13年度上期		14年度上期		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	1,810	215	1,879	197	70	▲17
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	321	16	406	33	85	17
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	245	30	263	28	17	▲2
その他住宅周辺事業等	8	5	11	12	3	7
合計	2,384	265	2,560	270	176	4

## <概況>

### ・建築請負部門

- ・前年度の好調な受注実績を背景に、集合住宅「ヘーベルメゾン」を中心に引渡戸数が増加したものの、施工費や広告宣伝費が増加したことなどから、前年同期比増収、減益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、前年度の受注水準が消費税増税前の駆け込み需要により高かったことを受け、今年度上期は前年同期比13.6%の受注減となった。

### ・不動産部門、リフォーム部門等

- ・リフォーム部門で消費税増税前の駆け込み需要の反動により受注が減少したが、不動産部門で大型分譲マンションの引渡しがあったことなどから、前年同期比増収、増益となった。

## <トピックス>

- ・重量鉄骨3階建て住宅「ヘーベルハウス フレックス」に、新開発の震動の吸収性に優れたオイルダンパーを組み込んだ制震装置「サイレス」を標準採用。(5月)
- ・重量鉄骨3階建て住宅のフレックスシリーズに切妻形状を導入し、外観バリエーションを拡充するとともに、空間自由度の向上を図った「ヘーベルハウス カットアンドケーブル」を発売。(8月)

# 住宅(1)

## 1. 売上高\*1、受注高の状況

(単位:億円、( )内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他	関係会社等	連結計	受注残
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634
	下期	1,728 (13.4%)	1,766 (6.1%)	184 (▲31.7%)	15	392 (4.5%)	2,357 (1.6%)	3,595
	通期	3,545 (15.5%)	3,021 (7.0%)	278 (▲13.6%)	25	768 (4.6%)	4,092 (5.0%)	
11	上期	1,894 (4.2%)	1,459 (16.3%)	119 (26.5%)	15	406 (8.3%)	2,000 (15.2%)	4,030
	下期	1,825 (5.6%)	1,937 (9.7%)	118 (▲35.7%)		465 (14.2%)	2,520 (6.9%)	3,918
	通期	3,719 (4.9%)	3,396 (12.4%)	237 (▲14.7%)		887 (11.8%)	4,520 (10.4%)	

		請負受注高	建築請負部門売上高	不動産部門売上高				リフォーム部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
12	上期	2,075 (9.5%)	1,614	44	233	11	288	216	12	2,130 (6.5%)	4,415
	下期	2,049 (12.3%)	2,059	162	245	11	419	247	7	2,731 (8.4%)	4,446
	通期	4,124 (10.9%)	3,673	206	478	22	706	463	19	4,862 (7.6%)	
13	上期	2,519 (21.4%)	1,810 (12.1%)	45	262	14	321	245	8	2,384 (11.9%)	5,199
	下期	1,694 (▲17.3%)	2,131 (3.5%)	248	279	11	537	281	11	2,960 (8.4%)	4,815
	通期	4,213 (2.2%)	3,941 (7.3%)	293	541	25	858	526	19	5,344 (9.9%)	
14	上期	2,176 (▲13.6%)	1,879 (3.9%)	98	293	14	406	263	11	2,560 (7.4%)	5,163
	下予	2,244 (32.5%)	2,141 (0.4%)	182	317	21	519	287	4	2,950 (▲0.3%)	5,326
	通期見通し	4,420 (4.9%)	4,020 (2.0%)	280	610	35	925	550	15	5,510 (3.1%)	

\*1 2012年度より「建築請負部門」、「不動産部門」、「リフォーム部門」の区分にて表示。従来の分譲事業売上高は、建築請負部門と不動産部門に分けて算入。

## 住宅(2)

### 2. 2014年度上期 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前年同期比)

		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建 系	低層	1,042	-6.1%	3,389	-8.0%	1,095	-16.8%	3,747	-11.2%
	中層	395	8.8%	1,545	14.9%	546	-8.5%	2,256	-1.6%
	小計	1,437	-2.4%	4,934	-1.9%	1,641	-14.2%	6,003	-7.8%
集 合 系	低層	135	38.7%	1,063	39.3%	174	-19.9%	1,397	-16.6%
	中層	257	31.6%	1,927	33.3%	361	-7.0%	2,774	-3.7%
	小計	392	33.9%	2,990	35.4%	535	-11.6%	4,171	-8.4%
建築請負事業合計		1,829	3.6%	7,924	9.5%	2,176	-13.6%	10,174	-8.1%
その他*1		51	14.6%	14	-33.3%	-	-	-	-
建築請負部門合計		1,879	3.9%	7,938	9.4%	2,176	-13.6%	10,174	-8.1%

\*1 一部分譲事業(「街かどヘーベルハウス」分譲、売建分譲)及び損害保険手数料収入等。

# 住宅(3)

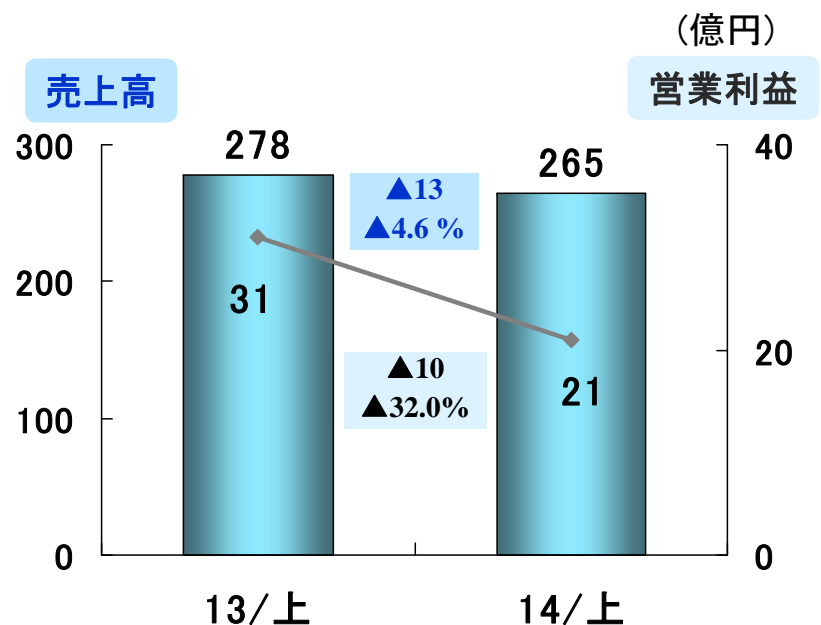
## 3. 2014年度予想 用途別売上高・売上戸数及び受注高・受注戸数(受注は請負のみ)

(右欄:前年同期比)

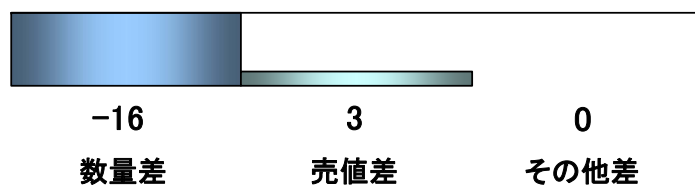
		売上高(億円)		売上戸数(戸)		受注高(億円)		受注戸数(戸)	
戸 建 系	低層	2,143	-5.3%	7,200	-3.5%	2,273	3.4%	7,684	6.8%
	中層	866	1.3%	3,400	1.7%	1,056	3.0%	4,338	7.2%
	小計	3,009	-3.5%	10,600	-1.9%	3,329	3.2%	12,022	7.0%
集 合 系	低層	328	18.3%	2,600	19.0%	363	2.6%	2,919	4.7%
	中層	572	27.6%	4,100	22.3%	728	14.7%	5,559	16.3%
	小計	901	24.0%	6,700	21.0%	1,091	10.4%	8,478	12.0%
建築請負事業合計		3,910	1.7%	17,300	5.9%	4,420	4.9%	20,500	9.0%
その他*1		110	12.8%	40	11.1%	-	-	-	-
建築請負部門合計		4,020	2.0%	17,340	5.9%	4,420	4.9%	20,500	9.0%

\*1 一部分譲事業(「街かどヘーベルハウス」分譲、売建分譲)及び損害保険手数料収入等。

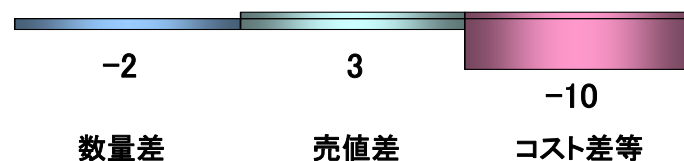




売上高増減分析



営業利益増減分析

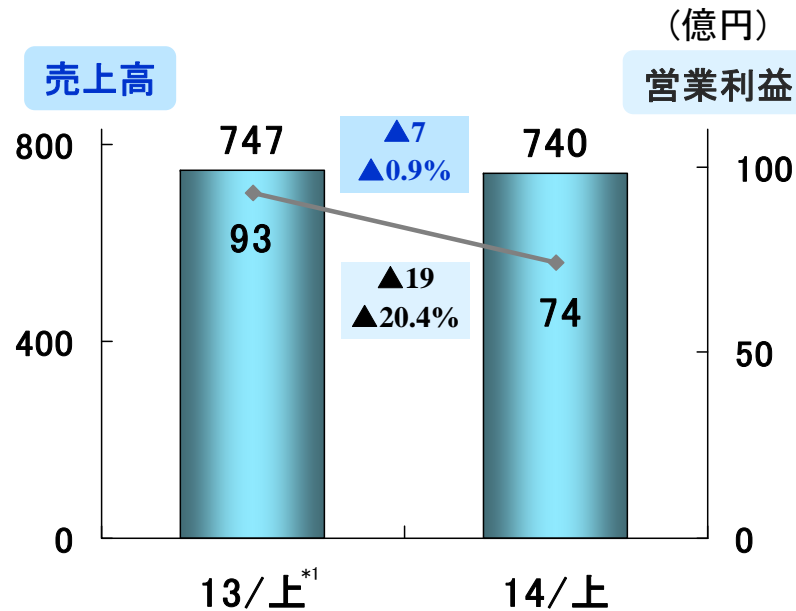


## <概況>

軽量気泡コンクリート(ALC)「ヘーベル」が順調に販売量を伸ばしたが、高性能フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」において販売量が消費税増税前の駆け込み需要の反動で減少したことに加え、新製造設備の償却費が増加したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

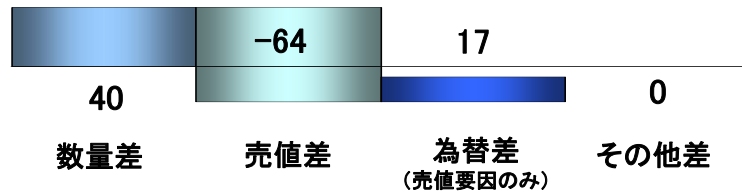
## <トピックス>

- ・住みながらの施工が可能な断熱リフォーム専用ボード「ネオマ断熱ボード」を発売。(6月)

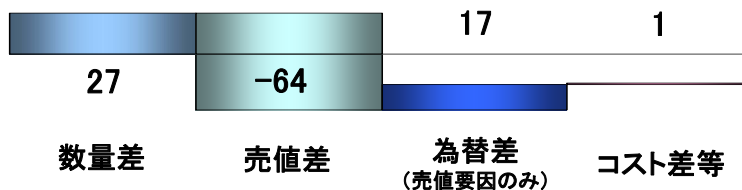


\*1 2013年度第3四半期より連結財務諸表に与える影響が重要となった子会社1社を連結子会社としたことに伴い、2013年度上期の営業利益の金額を遡及修正している。

## 売上高増減分析



## 営業利益増減分析



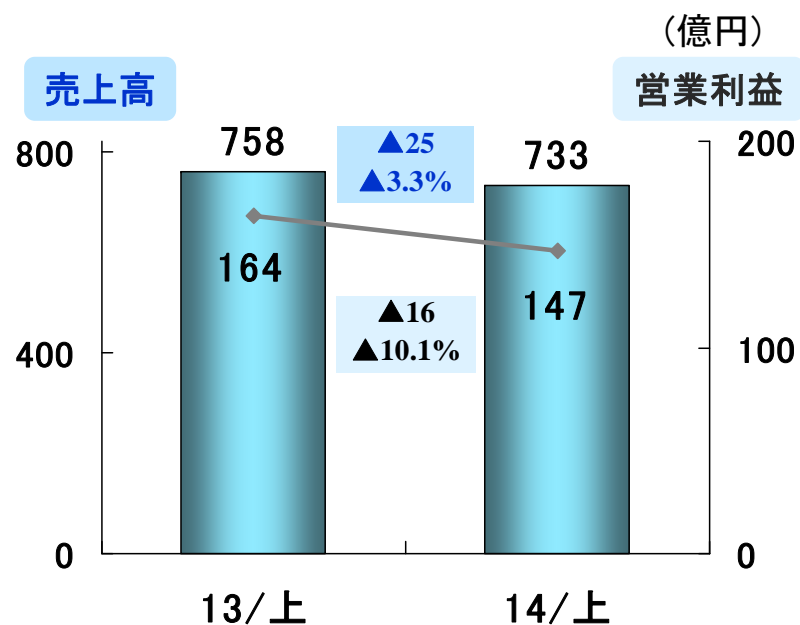
## <概況>

### ・電子部品系事業

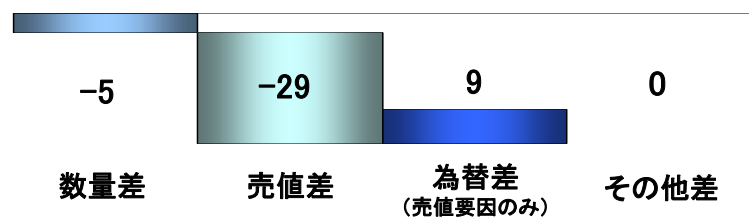
水晶発振器用ICの販売量の減少に加え、前年度の館山事業所閉鎖に伴う在庫積み増しの反動により売上原価が悪化したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

### ・電子材料系事業

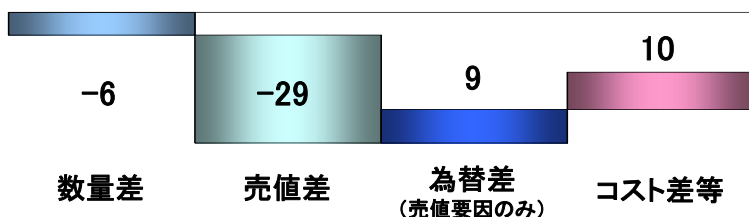
各製品における高機能領域の販売が順調に推移したが、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア」を中心に販売価格が下落したことなどから、前年同期比微増収、減益となった。



売上高増減分析



営業利益増減分析



## <概況>

### ・医薬事業

既存医薬品において薬価改定による価格下落の影響を受けたことや、消費税増税前の駆け込み需要の反動により骨粗鬆症治療剤「テリボン」や血液凝固阻止剤「リコモジュリン」の販売量が減少したことなどから、前年同期比減収、減益になった。

### ・医療事業

透析関連製品やアフェレシス(血液浄化療法)関連製品の販売が堅調に推移し、ウイルス除去フィルター「プラノバ」の販売量が増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

## <トピックス>

- ・トロンボモジュリン製剤「リコモジュリン 点滴静注用12800」(一般名:トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え))の原薬を製造する新棟を静岡県・富士市に建設することを決定。(5月)
- ・デュピュイトラン拘縮治療薬「ザイヤフレックス」について、国内での製造販売承認を申請。(7月)

# 医薬・医療／売上高内訳

(億円)

		13年度		14年度	
		上期	年間	上期	年間見込み
医薬事業	国内医薬	408	822	381	790
	その他	33	58	24	50
	計	441	880	405	840
医療事業		317	645	327	660
医薬・医療 計		758	1,525	733	1,500

## <主要医薬品の国内売上高>

(億円)

	13年度		14年度	
	上期	年間	上期	年間見込み
テリボン	128	269	125	279
フリバス	70	142	65	132
リコモジュリン	59	126	55	130
エルシトニン	43	79	33	60
ブレディニン	32	63	28	55

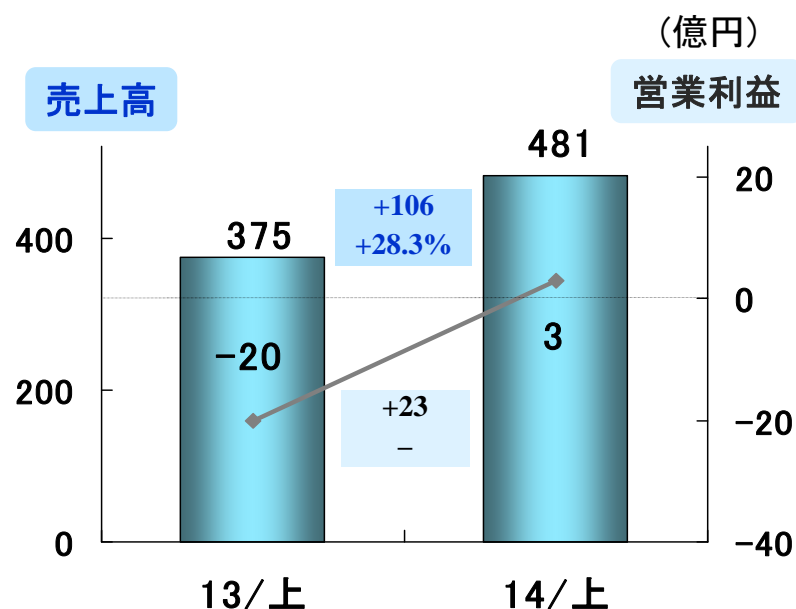
	一般名	薬効・作用の分類	適応症	剤型
テリボン	テリパラチド 酢酸塩	骨粗鬆症治療剤 (副甲状腺ホルモン: PTH)	骨折の危険性の高い 骨粗鬆症	注射剤
フリバス	ナフトピジル	$\alpha$ 1ブロッカー	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	錠剤
リコモジュリン	トロンボモデュリン アルファ(遺伝子組換え)	血液凝固阻止剤	DIC(汎発性血管内血 液凝固症)	注射剤
エルシトニン注20S エルシトニン注20S ディスポ	エルカトニン	骨粗鬆症治療剤	骨粗鬆症における疼痛	注射剤
ブレディニン	ミゾリビン	免疫抑制剤	関節リウマチ、腎移植、 ネフローゼ症候群、 ループス腎炎	錠剤

		開発コード・剤型 (一般名)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	申請中の品目	AK-160注	新成分新薬	細菌由来の コラゲナーゼ製剤	デュピュイトラン 拘縮	導入	
	フェーズⅢの品目	AK-156注 (ゾレドロン酸水和物)	新効能・新用量 医薬品	骨吸収抑制剤 (ビスフォスフォネート)	骨粗鬆症	導入	年1回 投与
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症	自社	
		HC-58注 (エルカトニン)	適応拡大	カルシトニン製剤	肩手症候群	自社	
海 外	フェーズⅢの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	自社	
	フェーズⅡの品目	AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ	自社	

探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

# クリティカルケア概況



## <概況>

営業活動強化に伴う販管費が増加したが、着用型自動除細動器「LifeVest(ライフベスト)」の業績が引き続き順調に拡大し、その他の除細動器などの販売も堅調に推移したことから、増収、増益となった。

## <トピックス>

- ・医療機関向け除細動器「R Series」の日本国内での製造販売承認を取得。(6月)
- ・呼吸管理機器メーカーである米国Impact Instrumentation社の実質的全資産を買収することで合意し、資産売買契約を締結。(10月)

<参考:クリティカルケアセグメント業績推移>

(億円)

	13年度			14年度		
	上期	下期	年間	上期	下期計画	年間計画
売上高(連結)	375	423	798	481	549	1,030
事業利益	46	49	95	66	86	152
のれん償却額	-35	-36	-71	-37	-37	-74
無形固定資産償却額等	-31	-28	-59	-27	-26	-53
償却額合計	-66	-64	-130	-63	-64	-127
営業利益(連結)	-20	-15	-35	3	22	25

## 業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。